工大広報

No.252 2009年3月19日発行

東北工業大学広報委員会
〒982-8577 仙台市太白区八木山香澄町35-1　TEL022(305)3145
ホームページアドレス　http: //www.tohtech.ac.jp/

卒業記念特集号

卒業・修了を祝して
卒業おめでとう
工大広報ハイライト
平成20年度 論文・作品題目一覧

TOHOKU INSTITUTE OF TECHNOLOGY
創造から統合へ―仙台からの発進
東北工業大学
http://www.tohtech.ac.jp/

CONTENTS

ページ

● 卒業・修了を祝して …… 1
学長の祝辞

● 卒業おめでとう
電子工学科 …… 2
情報通信工学科 …… 3
建築学科 …… 4
建設システム工学科 …… 5
デザイン工学科 …… 6
環境情報工学科 …… 7

● 工大広報ハイライト …… 8
４年間の出来事

● 平成20年度 論文・作品題目一覧 …… 9
卒業研修
修士論文・作品
博士論文

デザイン工学科　卒業制作展　展示風景

卒業・修了を祝して

学長　沢田康次

東北工業大学の卒業生・修了生の皆様，ご卒業まことにおめでとうございます。

皆様の門出にあたり心よりお祝いを申し上げます。

ご子息・ご息女の成長を見守り，できる限りの支援を与えてこられました保護者の皆様には心よりお喜び申し上げます。

世界は，二つの要素で大きく変わろうとしています。一つは，日本のすぐ隣にあって約10倍の人口を持つ中国の急速な台頭です。もう一つは，ネットワークの発達による世界の水平化・グローバル化です。半年前から始まった経済の世界的混乱の根本的原因もそこにあるのです。皆様は，そのような激動期の社会に4月から身を置こうとしています。

しかし心配は要りません。技術を持ってそれを磨いている人間は必ず社会から必要とされます。皆様が本学で学んだ工学は，社会に役立つ機能を実現するための基礎的原理です。企業に入ると，他社との競争に勝つために自分の技術を常に磨いている必要があります。作ったものが市場の製品になるまでに，マーケッティング，コスト，使いやすさ，耐久性，などさまざまなテストと工夫が必要になります。その様なさまざまな工程を成功させるためには，工学に加えて良い人間関係，つまり信頼が必要です。

東北工業大学は創立以来40余年，卒業生約3万人を送り出し，東北を中心として就職した卒業生の数は工科系大学の中で他大学を引き離しています。つまり東北の企業の中核になる人材を育て，それを支えている大学といっても過言ではありません。その中で，東北工業大学の卒業生は信頼できるという定評を先輩が築いてきました。

東北工業大学は，我が国を代表する研究を推進している多くの研究者を擁しています。更に，産学連携・地域連携を重視して，他大学に先んじてサテライトキャンパスや地域災害対策を推進する「地域安全安心センター」を設けており，また多くの企業との共同研究を行なっています。

学長として私は，卒業生の皆様が，自分たちが社会から信頼されている中核的人材であること，母校が我が国を代表する研究と東北地方を支える社会貢献を行なっている大学であることを誇りとして，これからの人生をしっかり歩まれることを心より祈っています。

（さわだ やすじ）

卒業おめでとう

知能エレクトロニクス学科
客員教授　榎本 幹
えのもと　まさる

キーワードは「スキルアップ」

2008年９月，リーマンブラザーズの破綻に始まった金融危機は日を追うごとに深刻さを増し，世界的規模の大不況となりました。半導体業界もこの影響をまともに受けている業界のひとつですが，半導体不況下，メモリー主体のビジネスから「システムＬＳＩ」へと転換して，携帯電話などの高付加価値製品の開発につなげた例が過去にもあります。今こそ技術者が自らの技術で豊かな社会を実現する格好のときと捉えては如何でしょう。

人生を登山に例えれば，大学卒業は登山口到着です。それぞれの道で確実なスキルアップを図りながら登って行きましょう。

貴重な４年間

電子工学科
青山 耕右
あおやま　こうすけ

私にとってこの４年間は，大変充実したものでした。「何事にも積極的に」を心がけ，幅広い分野の専門・教養科目から多くのことを学び，様々な知識を身につけることができました。またサークルを通してのボランティア活動も他方面の方々との交流があり，協調性や自主性を高めることができ有意義なものでした。これからも成長し続ける気持ちを忘れることなく，今まで培ってきた経験や知識を活かし，社会に貢献したいと思っています。

かけがえのない時間

電子工学専攻　博士(前期)課程
葛岡 誠
くずおか　まこと

大学院で過ごした２年間は，私にとってかけがえのない時間となりました。樋口龍雄教授には研修についてだけではなく，人生の先輩としてたくさんのことを教えていただきました。また，東北工業大学高等学校での非常勤講師の経験も，これからの自信につながりとても有意義でした。

大学院でのかけがえのない時間を支えてくれたすべての方々に，心から感謝いたします。ありがとうございました。

◆卒業研修発表会

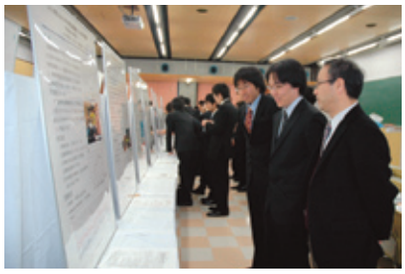
2009.3.3（火）東北工業大学八木山キャンパス９号館１階
（知能デバイス系，知能センシング系）
2009.3.9（月）東北工業大学八木山キャンパス８号館
「組込みシステム開発研修センター」（知能システム系）

平成20年度知能エレクトロニクス学科 卒業研修発表会が行なわれました。今年から，知能デバイス系（ポスターセッション形式），知能センシング系（口頭発表形式），知能システム系（口頭発表形式＋ポスター形式）に分かれての発表が行なわれました。口頭発表やポスター発表で４年間学んだ学問の集大成を発表しました。

発表会参加の学生

口頭発表の様子

座長を務める大学院生



ポスターセッション形式の発表

◆大学院修士論文発表会

2009.2.20(金)
東北工業大学八木山キャンパス３号館２階

平成20年度大学院電子工学専攻修士論文発表会が開催されました。博士（前期）課程の修了者３名が発表を行ないました。

情報通信工学科
客員教授　氏家 宏
うじいえ　ひろし

Collapse ⇒ Change ⇒ Chance

皆さん卒業おめでとう。2009年丑年がスタートしました。昨年秋から産業・経済の大崩壊が始まりました。一時的な衰退ではなく，これまでのパラダイムが崩壊し，新しいパラダイムへの変化を天が要請したものと思われます。これから始まるのは，新しいパラダイムの模索と構築です。先見の明のある人々や新しい指導者は，BULLのように動き出したようです。21世紀を背負う若い皆さんは，この崩壊を非難したり嘆いたりせず，やりがいのある絶好のチャンスが，天から与えられたものと捉え，新しい時代を創出してください。

人との触れ合い

情報通信工学科
相原 加奈
あいはら　かな

大学では新しい専門的な勉強に加え，県内・県外から多くの学生が来ているので，今までにない新しい友人関係も築くことができました。この４年間，毎日友達や先輩・先生方などたくさんの人と話をして笑い合い，とても楽しい学生生活でした。また研究室では，座学では学べないアンテナ設計についても体験することができ，とても勉強になりました。

充実した２年間

通信工学専攻　博士(前期)課程
楢葉 雄也
ならは　ゆうや

大学院での２年間は，私にとってとても貴重な経験となりました。講義はよりレベルの高い，難しい内容でしたが，それ故に興味深いものが多く，学ぶ楽しさがありました。そして，自分の研究分野を含めて，多くの専門知識を習得することができました。また大学祭やスポーツ大会などの行事に積極的に参加し，後輩の学生との交流も深めることができました。

４月からは社会人になりますが，学生時代に得た知識や経験をフルに活用していきたいと思います。

◆卒業研修ポスター発表会

2009.2.27(金)
東北工業大学八木山キャンパス10号館１階 tohtech FORUM

卒業研修ポスター発表会が午前，午後の２セッションにわたり開催されました。研修生がそれぞれの研修の成果をまとめたポスターを掲示し，参加者が随時質問，討論を行なう形で発表会は進行し，研修生同士，あるいは研修生と教員の間で活発な討論が行なわれ，会場は当日の寒さを吹き飛ばすような熱気に包まれていました。

なお，研修生の投票により「優秀ポスター発表賞」として以下の４件が選出されました。受賞者は，情報通信工学科卒業記念パーティーの場で表彰されることになっています。

○情報コース
・伊藤 大輔（村岡研究室）「オーロラのビジュアルシミュレーション」
・柏木 佳佑，鈴木 慎吾（水野研究室）「ｎクイーンゲームの作成」
○通信コース
・増村 泰人，森 佳文（野口研究室）
「光フィルタを用いた波長多重光アドドロップ回路の検討」
・咲山 修一（中川研究室）
「地球磁気圏近尾部における磁気リコネクションによるスローショック」

ポスター発表会全景

優秀ポスター選定のための電子投票風景

発表者との討論風景

ポスター内容を説明する発表者

ポスターを見て真剣に考える参加者

建築学科
学科長・教授　谷津（やつ） 憲司（けんじ）

コントリビューションできますか？

建築学科の教育理念を覚えていますか。３つのＣと言っていますが，Creativity（創造力）→ Confidence（自信）→ Cotribution（貢献）です。他人や会社と良い関係を築きたいとき，まず「この人，組織に対して自分はどんなコントリビューションができるか」と考えた方が，信頼して受け入れられやすいことは分かると思います。

社会貢献とか地域貢献とかでなくとも，自分の持っている情報を同僚にシェアーするとか，自分の能力をチームに提供するとか，そうしたコントリビューションを通じて，未知の人とじっくり信頼関係を築くことは，ごく日常的な行為です。職場でそう意識し，行動するかしないかで，皆さんの評価は大きく変わります。どうコントリビューションできる人かを，いつも見られていると思ってください。活躍を祈ります。

大学生活の良き思い出

建築学科
中野（なかの） 和也（かずや）

４年前，「建築を学ぶ」と漠然とした考えで本学に入学しました。講義，実習，演習を通し様々な知識を頭と体で学ぶ中で，建築という分野が少しずつ形になっていき，自分の進みたい道を見つけることができました。

また，所属していた準硬式野球部で，素晴らしい仲間と楽しく野球ができたことも，大学生活の良き思い出です。

本学で学んだ知識と出会えた仲間を大切にし，社会人として頑張りたいです。

新たな環境で

建築学専攻　博士（後期）課程
菊池（きくち） 義浩（よしひろ）

私は，他大学から本学大学院に進学してきました。それまでの環境を変えることは１つの挑戦でしたが，博士課程修了にあたり，その選択は間違いではなかったと感じています。新たな先生方や仲間たちから様々な刺激をもらい，また学会での研究発表や論文投稿等の経験は，私にとって大きな財産となっています。

後に続く後輩たちに期待し声援を送ると共に，大学院生活を支えて下さった皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

◆卒業制作展

2009.2.27（金）～3.4（水）
せんだいメディアテーク５階ギャラリー

2009年２月27日（金）から３月５日（水）まで，せんだいメディアテーク５階のギャラリーにおいて，デザイン工学科との共催で卒業制作展が行なわれました。初日に公開審査会が開催され，学内の卒業設計発表会を経て選ばれた９名の学生と３名の大学院生が自身の作品を前に熱のこもったプレゼンテーションを行ないました。

学外審査員として，大嶋貴明氏（宮城県美術館），千葉政継氏（宮城大学教授），福士良一氏（INA 新建築研究所）そしてアニリール・セルカン氏（東京大学助教）の４名をお招きしました。

５分間の発表と７分間の質疑応答を経て，審査員と教員による投票の結果，尚建会大賞に八代裕太郎君，尚建会賞に小林知博君と工藤聡志君，経済交流会賞に佐藤太一君が選ばれました。期間を通しての来場者は約1,000名を数え，両学科の教育・研究活動の集大成を広く一般の方々に伝える絶好の機会になりました。

審査会発表者
４年生
八代裕太郎（尚建会大賞）
小林　知博（尚建会賞）
工藤　聡志（尚建会賞）
阿部　恵子（審査員特別賞・大嶋）
三上　寛哲（審査員特別賞・千葉）
田島　智久（審査員特別賞・福士）
髙竹　恭弘
武田　勇輔
千葉めぐみ

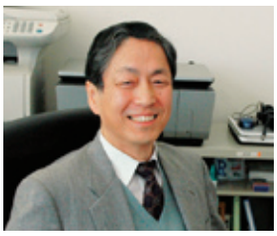
大学院
佐藤　太一（経済交流会賞）
小檜山竜馬（アニリール・セルカン賞）
横山　拓也

公開審査の様子

尚建会大賞（八代裕太郎）

経済交流会賞（佐藤太一）

公開審査終了後、審査員を囲んでの記念撮影



建設システム工学科
学科長・教授　新井（あらい）　信一（しんいち）

社会へと船出する皆さんへ

皆さんは，それぞれのとても貴重な人生を背負って社会へと旅立ちます。めでたく，そして少々不安で，しかし希望にあふれての船出でしょう。これからは自ら学び，自らの力で進んでいかねばなりません。百年，千年の過去を学び続けてください。いつの日か，未来が見える自分を発見しているでしょう。千キロ先，万キロ先をよく見てください。何に注意し何をすればよいかが分かってきた自分を認識していることでしょう。どんな嵐も乗り越えることに喜びがあります。大学で修得した力を磨き上げ，広げ，挑戦し，実りある楽しい人生を築いてください。

４年間で見つけたもの

建設システム工学科
八重樫（やえがし）　絵理（えり）

不安を抱えながらも自分の可能性を信じ，失敗しても挑戦し続けた４年間。私が見つけたものは，社会を陰で支え，環境と人間社会との架け橋のような技術者になりたいという目標でした。両親をはじめ先生方，友人達，お世話になった方々のお蔭で新たな門出を迎えることができ，深く感謝しています。目標に向かって一社会人，一技術者として着実に成長し，微力ながらも社会に貢献することで，お世話になった方々に恩返ししていきたいです。

充実した大学院生活

土木工学専攻　博士（前期）課程
及川（おいかわ）　幸志（こうし）

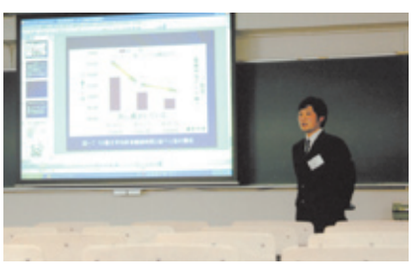
大学院に進学してからの２年間は私にとってかけがえのない物となりました。多くの仲間や指導してくださった先生方に支えられ，学会発表や研究生活などたくさんの貴重な経験をさせていただき，充実した大学院生活を送ることができました。

共に多くの時間を過ごした研究室の仲間や，支えてくれた家族からの支援があったことは言うまでもありません。本学で学んだことを礎に，社会人として新たな一歩を踏み出していこうと思います。皆様，ありがとうございました。

◆卒業論文発表会

2009.2.19（木）
東北工業大学　八木山キャンパス６号館３階

本年度は12研究室，研修生96名が本学６号館３階の２教室において，卒業論文および卒業作品〔本年度より実施〕発表会が開催され，各研究分野での研修成果を発表しました。



卒業論文発表風景

研修作品制作風景

研修における室内実験風景

◆大学院修士論文発表会

2009.2.18（水）
東北工業大学　八木山キャンパス６号館３階

本年度の土木工学専攻修士論文発表会が開催されました。修了生の修士論文発表者は２名で，２年間の各研究テーマにおける研究成果について15分間発表，その後，10分間教員との活発な質疑応答が行なわれました。

研修における現場調査風景

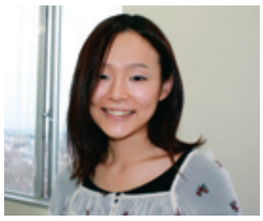
大学院修士論文発表風景

クリエイティブデザイン学科
准教授　中居（なかい）　尚彦（のぶひこ）

Find the Way

デザイン工学科を卒業される皆さんおめでとうございます。この１年間は，八木山キャンパスから長町キャンパスへと移り，落ち着いて卒業制作に取り掛かるまで時間がかかったと思います。また入学時には，予測もできなかった景気の後退など，就職活動にも大変な１年間でもありました。この目まぐるしい環境の変化の中，大学で学んだこと，新しく知り合うことができた人とのネットワーク，アルバイトやインターンシップなどで体験した学外の活動などは，経験としてすべて自分の中に積み重ねられています。これから社会に出ても，自分に自信を持って自分の道を見つけて欲しいと思います。

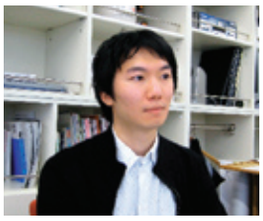
一番の思い出は仲間達との日々



デザイン工学科
加藤（かとう）　聡子（さとこ）

学生生活最後の学年。研究室の皆と何かにつけて集まっては行事やイベントを計画しました。卒業制作の中間展示会の準備などで忙しかったときも，一緒に徹夜した仲間達との打ち上げが楽しみで，乗り越えてこられたように思います。特にIPDコース全員で行ったキャンプは，笑いありアクシデントありでとても楽しいものになりました。これから先，皆ばらばらになってしまいますが，仲間達と過ごした日々は忘れられない思い出になると思います。

次につなげる２年間



デザイン工学専攻　博士（前期）課程
足立（あだち）　邦登（くにと）

私は，一度社会で働いた後，大学院へ進学しました。人々の生活は大きく変化していないのに，モノづくりは今までにない新機能やスタイルに関心が向いていることに違和感を感じた２年前。自分は，より上流にある，人が内に持っている欲求の本質を読み取り，それをデザインへ変換できる人間になりたいと進学した大学院。４月からは，そのために学んだことと，大学院生活で得た人脈を武器に，より成長したいと思っています。

◆卒業制作展

2009.2.27（金）～3.4（水）
せんだいメディアテーク５階

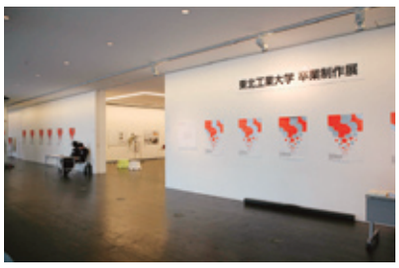
2009年２月27日（金）から３月４日（水）までの６日間，せんだいメディアテーク５階において建築学科・デザイン工学科の卒業制作展が開催されました。デザイン工学科の卒業予定者88名，大学院博士（前期）課程デザイン工学専攻修了予定者１名による制作物は，模型，実作，論文，映像からパソコン上の制作までありました。会場では，時間をかけた作品を前に，一般のお客さんに作品を説明する学生たちの姿が目につきました。卒展初日に行なわれた公開審査会の結果は以下の通りです。

公開審査会で説明する発表者

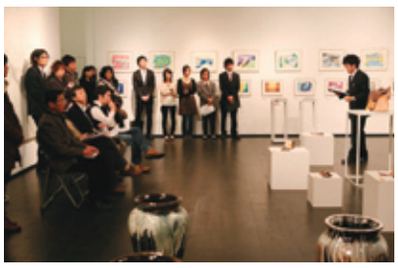
2009年２月27日（金）11時00分～13時30分
デザイン工学科デザイン工学優秀賞
公開審査会実施

審査員：加藤喜久雄氏，中島敏氏（いづれも本学非常勤講師），椋尾倫己氏（来年度本学非常勤講師予定）

○デザイン工学優秀賞
・金子真弓　「江戸時代の循環システムを紹介するWebサイトの制作」
○デザイン工学奨励賞
・萩川由貴
・内海りか
・平間博之
・菅野禎人
・齋藤武史
・足立邦登（大学院）
○経済交流会優秀学生賞
・加藤由季，相馬由香
○商業施設団体優秀学生賞
・服部弘司



ポスターデザイン：４年　服部弘司



公開審査会風景

展示風景

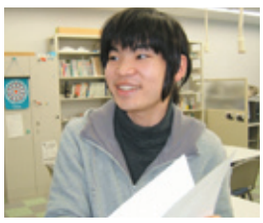
公開審査会表彰

環境情報工学科
学科長・教授　江成（えなり）　敬次郎（けいじろう）

苦労を楽しむ強さを培って

皆さん卒業おめでとう。４年間の大学生活はどうだったでしょうか。いろいろなことを学び，いろいろなことを体験して過ごしてきたと思います。これからは多くの人が社会に出ていくわけですが，大学までに学んだことだけでは社会に出て活躍するには充分ではありません。しかし，どのように学べば良いのかという学び方についてのノウハウを知ってくれたのではないかと思います。そのノウハウを生かして，自分の力を高めるためには，これからも苦労が必要です。その苦労を楽しむ強さを培って下さい。そして必要な時には，大学を，大学の先生を大いに活用して下さい。

大学生活を振り返って



環境情報工学科
伊藤（いとう）　祐太（ゆうた）

最初の友人ができたのが，大学に入学してすぐに行なわれた身体測定のときでした。決して多くはないけれど，居心地のよい友人たちに出会えました。レポートで四苦八苦しました。課題を人前で発表したとき大変緊張したのを覚えています。

そんな大学生活を振り返ってみると，苦しいことの方が多かった気がします。しかしそれでもなお，楽しい４年間であったと心の底から強く思えるのは，両親や先生方，そして友人たちのおかげです。この４年間という日々をともに過ごしてくださり本当にありがとうございました。

柔軟にそして論理的に

環境情報工学専攻　博士（前期）課程
伊藤（いとう）　雄也（ゆうや）

２年前，友人たちが大学を巣立って行く中，私は大学院へ進学をしました。当初は，社会人として成長する友人たちを見て自分自身に焦りを感じていました。しかし，指導教授のもと，研究や勉学を通して，柔軟にそして論理的に物事を捉えられるようになり，そのことが自分の自信へとつながりました。

最後に，熱心にご指導していただいた浅井和弘教授，学生生活を支えてくれた両親，苦労を分かち合った研究室の皆さんに深謝いたします。

◆卒業研修発表会

2009.２.18（水）
東北工業大学八木山キャンパス９号館３階

卒業予定者88名が１年間の研究成果の発表を行ないました。研究テーマ数は68件で，環境インフォマティクス，環境テクノロジー，環境マネジメントとコース別に行なわれました。発表後には，教員や学生との活発な質疑応答が行なわれました。

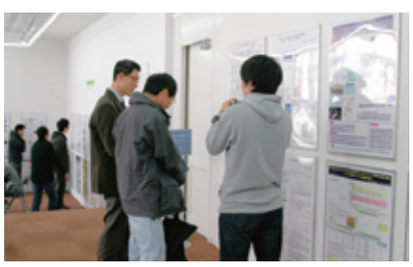
発表会の様子

◆卒業研修成果発表　K-WORKS 2008

2009.２.20（金）～２.25（水）
東北工業大学一番町ロビー

第５回目となる「K-WORKS」では，88名（68テーマ）全員が研究成果をまとめたポスターを作製し，１階ギャラリーで発表を行ないました。

また，21日（土），22日（日）には，来年度本学科入学予定の高校生を招き，４階ホールにおいて「高校生と在学生との懇談会」を行ないました。



高校生と在学生との懇談会

ポスター展示発表

工大広報ハイライト　この４年間の出来事を工大広報からピックアップしました

2005年（平成17年）度

4／1	新技術創造研究センター，ｅラーニングセンターおよび情報ネットワーク管理室を開設.
〃	建築学科でオリジナル切手発行.
4／6	入学式　817名入学.
8／27	東北工業大学同窓会設立20周年記念会開催.
8／30～9／1	第20回対北海道工業大学総合定期戦が札幌で開催され，６勝７敗.
10/15～16	第30回工大祭「合GO！！」が二ツ沢（現 長町）キャンパスで開催された.

2006年（平成18年）度

4／1	ウェルネスセンターがスタート.
〃	自動体外式除細動器（ＡＥＤ）を香澄町（現 八木山）・二ツ沢（現 長町）の両キャンパスに設置.
7／20	香澄町（現 八木山）キャンパスに新１号館完成.
8／29～30	第21回対北海道工業大学総合定期戦が本学で開催され，両学とも７勝.
10/21～22	第31回工大祭「未知案内」が前年に続き二ツ沢（現 長町）キャンパスで開催された.

2007年（平成19年）度

4／1	電子工学科が知能エレクトロニクス学科に名称変更.
5／14	建設システム工学科が JABEE（日本技術者教育認定機構）の認定を受ける（土木および土木関連分野）.
6／1～14	全国的に流行した「はしか」の感染拡大防止対策として，全学休講・構内立ち入り禁止等の緊急措置がとられた.
8／28～29	第22回対北海道工業大学総合定期戦が札幌で開催され，４勝９敗.
10/20～21	第32回工大祭「彩・IRODORI」が香澄町（現 八木山）キャンパスで開催された.
10/24	泰日工業大学（TNI）との学術交流・協力の協定書締結.
2／13	本学がISO14001：2004の認証取得.

2008年（平成20年）度

4／1	ライフデザイン学部設置.
〃	長町キャンパスバス路線開通.
〃	第７代学長に沢田康次教授が就任.
〃	香澄町キャンパスを八木山キャンパスに，二ツ沢キャンパスを長町キャンパスに名称変更.
5／13	八木山キャンパス１号館が「平成19年照明優秀技術賞」を受賞.
6／7	八木山キャンパス１号館が「東北建築賞作品賞」を受賞.
8／26～27	第23回対北海道工業大学総合定期戦７勝６敗で本学が総合優勝.
9／17	八木山キャンパス食堂リニューアルオープン.
10/18～19	第33回工大祭「Freedom」が八木山キャンパスで開催され，オープンキャンパスも同時開催.
10/31	八木山・長町の両キャンパスにて，学生・教職員全員を対象とした避難訓練が行なわれた.
3／19	学位記授与式.

トピックス

建築士受験資格取得に有利な大学に認定されました

建築士法の改正に伴い，各大学・大学院の授業科目と，その内容が建築士試験に対応したものかどうか審査・認定を受けることが必須になり，審査の結果，以下の３点が認定されました。

① 本学建築学科の授業科目が，建築士試験に対応した指定科目として認定されました。このことは従来通りです。これにより本学科を卒業すれば，一級建築士試験および二級建築士の受験資格が得られます。（ただし一級建築士試験の受験にあたっては卒業後２年の実務経験が必要です。）

② 本学大学院建築学専攻の授業科目が，一級建築士試験の受験に必要な実務経験１年の認定を受けました。これにより本専攻において指定の科目を履修・修了すれば，一級建築士試験の受験に必要な実務経験１年が認められます。

③ 本学ライフデザイン学部安全安心生活デザイン学科が，建築士試験に対応した指定科目を有する学科として認定されました。これにより，指定された科目を修得の上，同学科を卒業すれば，直ちに（実務０年で）二級建築士・木造建築士試験の受験資格が得られるようになりました。（平成21年度入学生から適用）

財団法人郵政福祉との確認書の取り交わしについて

学校法人東北工業大学の設立に深くかかわり，その後も役員等人事の推薦，教育振興基金の寄付等を行なってきた財団法人郵政福祉（旧郵政互助会）との間で，次の点を内容とする確認書を取り交わすこととなりましたのでお知らせします。

・郵政福祉は，現役員等の任期満了後の人事の推薦は行なわない。
・寄付金（教育振興基金）は，平成20年度をもって終了する。
・教職員に加入が認められていた郵政福祉の退職給付等のサービスは，平成21年3月31日をもって終了する。
・これまで両者の間で取り交わした一切の約束事等は，平成21年3月31日をもって効力を失う。

平成20年度　論文・作品題目一覧

卒　業　研　修
修士論文・作品
博　士　論　文

（研究室配列は50音順）

平成20年度卒業・修了者数　2009年3月19日

◆ 工　学　部

	電子工学科	(42回生)	143名
	情報通信工学科	(42回生)	144名
	建築学科	(40回生)	165名
	建設システム工学科	(39回生)	96名
	デザイン工学科	(39回生)	88名
	環境情報工学科	(5回生)	86名
	計		722名

◆ 工学研究科

博士(前期)課程	電子工学専攻	(15回生)	3名
	通信工学専攻	(16回生)	5名
	建築学専攻	(16回生)	7名
	土木工学専攻	(16回生)	2名
	デザイン工学専攻	(8回生)	1名
	環境情報工学専攻	(5回生)	4名
	計		22名
博士(後期)課程	建築学専攻		3名
	計		3名

工学部 卒業研修題目

電子工学科 Department of Electronics

阿部俊三 研究室 ABE TOSHIMI LAB.

○ダイヤモンドペースト塗布基板を用いたダイヤモンド薄膜の形成　－ダイヤモンド成長過程のその場モニター－
大橋弘幸・佐藤　圭

○スパッタ膜基板を用いた方形断面を持つMoO_2ナノチューブの成長
櫻井琢武・青山耕右・菅原和也

○アルコールランプ燃焼炎を用いたナノワイヤーの生成と観察
海老田一真・石舘　学

石川 瑛 研究室 ISHIKAWA AKIRA LAB.

○PICによるフルカラーLEDの制御
鈴木　悠・金ケ瀬智之

○移動方向検知システム　－Ｔ字路の場合－
佐藤秀太郎・佐藤拓真・菅原　翔

○CCDカメラ画像の変化の検出　－静止画像による予備実験－
斎藤　充・志賀憲仁

伊藤 奨 研究室 ITO SUSUMU LAB.

○マイクロマウスの製作に関する研修（その１）
佐久間雄大・佐藤紘義・細谷直人

○マイクロマウスの製作に関する研修（その２）
後藤章紀・中津山正史・渡邊貴司

○半導体放射線検出器用前置増幅器の設計・製作
小野寺孝一・中田　翔

榎本 幹 研究室 ENOMOTO MASARU LAB.

○表面波レーダを用いた領域警戒システムの概要
相内雄規・高橋　渉

○表面波レーダのパルス依存性Ⅰ
赤坂良弘・遠藤宏史

○表面波レーダのパルス依存性Ⅱ
尾形啓一朗・瀬尾克支

○表面波レーダの離線特性
井筒慎吾・黒沢周一

大羽克彦 研究室 OHBA KATSUHIKO LAB.

○透明導電膜（ITO, ZnO, SnO_2）の作製と評価
大類一起・今野秀幸・須田信耶・豊島倫明

○化合物半導体（ZnTe:O）の結晶育成と評価
西村貴博・長田和也・佐藤豪太・佐藤弘康

織原彦之丞 研究室 ORIHARA HIKONOJOH LAB.

○GM管によるベータ線の最大エネルギーの測定
高橋祐樹・樋口健士朗

○鉛によるガンマ線吸収のエネルギー依存性
田中知将・千葉武士

○放射性核種198-Auの寿命測定
小堤裕典・柴田順翔・坂本篤信

小林正樹 研究室 KOBAYASHI MASAKI LAB.

○担がんマウスを用いた腫瘍由来生物フォトン発光の高感度長時間イメージングによる抗がん剤，制がん剤の薬効評価法に関する研究
熊坂増高

○フェイズドアレイ型超音波トランスデューサによる集束超音波の発生と音響光学効果による蛍光変調法の研究
今　勝史

○音響光学効果を用いた超音波タグ生体蛍光イメージング法のための超音波プローブに関する研究
大内康平

○Lab Window CVI を用いた動物実験麻酔管理のための生体電位パルス計測プログラムの開発
佐藤　健

○高出力グリーンレーザーを用いたシリカコーティング蛍光性量子ドットの退色性能評価実験
相澤孟広

○Imaging Photon Detector用真空型極微弱発光画像計測装置の改造と評価
早坂拓也・星山琢哉

庄司忠良 研究室 SHOJI TADAYOSHI LAB.

○臭化タリウム放射線検出器用結晶のPL評価
工藤哲也・伊藤　翼

○臭化タリウム放射線検出器のⅠ－Ⅴ特性とγ線応答特性による評価
星　祐史・三浦雄喜・花田寛幸・三浦智史
原田智也・渡辺智弘・渡辺　恵

末廣輝男 研究室 SUEHIRO TERUO LAB.

○銅板から太陽電池を作る
秋元一了・門脇圭祐・神山知之・草刈健次
熊井徳秀・小関智弘・佐野敬太郎・関村和弘

鈴木正宣 研究室 SUZUKI MASANOBU LAB.

○不純物添加（PbSn）Se MBE膜の諸特性(1)
石渡雄斗・安藤亮太・工藤雄輝

○不純物添加（PbSn）Se MBE膜の諸特性(2)
小泉　裕・落合洋司・遠藤直也・鏡　敦夫

中山英久 研究室 NAKAYAMA HIDEHISA

○センサネットワーク機器に接続する人感センサ回路の試作
大泉文浩
○センサネットワークでの屋外通信における地表の影響
佐藤秀平・畠山　透
○センサネットワークを用いた行動判別に関する検討
柴垣高文
○Ｒを用いた類似文字識別の比較検討
鈴木　潤・若生和季

畑岡信夫 研究室 HATAOKA NOBUO LAB.

○カーナビにおける音声インタフェースの評価　－語彙外発話の状況と対応案に関して－
瀧　直人・笹原大亮
○車載音声の解析と評価
齋藤康夫・高橋英徳
○音声認識の組込みシステム搭載での課題
小野寺透・佐藤隆英
○音源定位機能を持つロボットシステムの試作
齋藤竜一
○持続時間を補正した高齢者音声認識
佐藤正樹・鎌田直希

樋口龍雄 研究室 HIGUCHI TATSUO LAB.

○位相限定相関法を用いた画像照合
伊藤達耶
○ディジタル画像のノイズ除去とその評価
薄　宏彰
○Ｈ８マイコンを用いたエレベータモデルのシーケンス制御
高泉　圭
○UCCを用いた並列コンピューティング
会津誠世
○Java言語による画像処理
坂下広輔
○FPGAを用いたドットマトリクスLED制御
高橋伸明
○JBuilderによるJavaアプリケーションの作成
佐藤　悠
○VHDLによる順序論理回路設計
茂山　平

人見啓太朗 研究室 HITOMI KEITARO LAB.

○アニーリングによるTlBr検出器の特性改善
高橋道知・瀬川　研・成田元樹
○両面型TlBrストリップ検出器の開発
村上　亘・千葉勝晃・土屋琢磨・中川良樹

藤田豊己 研究室 FUJITA TOYOMI LAB.

○車輪型移動ロボット用ロボットアームの開発
曽根勇太
○ロボット動作画像観察時の注視点の計測
千葉和也
○測域センサを用いたクローラ型移動ロボットの走行制御
千葉裕太
○二足歩行ロボットの開発と歩行制御
中山祐太
○４足歩行ロボットの開発と威嚇姿勢
野中千裕
○ビジョンシステムによる移動ロボットの制御
三津谷裕貴
○二足歩行ロボット用ワイヤレスUSB通信システムの製作
山内崇史
○車輪型移動ロボット用ロボットアームによる物体操作に関する研究
長田　賢

本多直樹 研究室 HONDA NAOKI LAB.

○B-Hループトレーサーによる RFスパッタパーマロイ薄膜の磁気特性解析
冨澤正寛・佐藤　将
○RFスパッタパーマロイ薄膜の磁気抵抗効果の測定
遠藤幹昂・目黒　輝
○VSM（試料振動型磁力計）の作製
渥美　竜・千葉正裕
○コリメータを用いたRF二極スパッタリングの薄膜堆積特性
小向達也・池田雅和・石川康志

本田 光 研究室 HONDA HIKARU LAB.

○近接法によるp-Si基板（100）上のSiC薄膜の形成(1)
佐藤大輔・阿部健翔・菊地　巧
○近接法によるn-Si基板（110）上のSiC薄膜の形成(2)
駒井孝之・高子　充・増子智彦・守　真悟

水野文雄 研究室 MIZUNO FUMIO LAB.

○倒立振子の製作と制御に関する基礎的検討
菱沼翔太郎・早坂　妥・藤本祐基
○両眼に任意の独立視野を与える装置　－バーチャルカメレオンの開発
岸浪和也・伊藤健志
○wikiを用いた手話学習支援システムの構築
佐藤将来

○周辺環境音に基づく振動提示による注意喚起装置の製作
佐藤貴則

村社勝夫 研究室 MURAKOSO KATSUO LAB.

○AC小型コネクタの挿抜試験機による寿命試験　－消耗量の測定－
佐藤弘明・大久　望
○電気接点の雰囲気における寿命実験について　－各種金属の接触抵抗の経時変化－
鈴木智也・富樫一茂
○電気接点火花の画像処理による痕跡測定　－各種金属の融点による比較－
木戸将志・斎藤　渉
○ディスク型摺動装置による寿命試験　－Cuアマルガム接点による摺動接触－
齊藤　匠・西城孝志

情報通信工学科 Department of Information and Communication Engineering

上杉 直 研究室 UESUGI NAOSHI LAB.

○高非線形単一モード光ファイバによる連続スペクトル発生
志摩慶治・菊池重人
○PPLN結晶を用いた光パラメトリック発振器による２波長発振の研究
川村卓大・小野寺孝輔
○リッジPPLN光導波路による波長変換特性の研究
遠藤寛士・大川口聡
○二光子吸収電流による超短光パルスの自己相関波形測定
星　　充・金子雄祐
○ハイビジョン映像のPC間擬似実時間伝送に関する研究
児玉寛人・梅内勇気

氏家 宏 研究室 UJIIE HIROSHI LAB.

○空洞共振器列スロットアレイの広帯域化に関する研究
佐久間信
○マイクロ波ＬＡＮサーバ用誘電体平板アンテナ
佐藤智明
○広角放射ＬＡＮサーバ用誘電体平板アンテナ
金子真之
○誘電体双曲線レンズアンテナの試作と測定
田澤直道
○至近距離用ヘリカルアンテナ　－放射パターンの回転対称性の検討－
相原加奈
○至近距離用導体テープヘリカルアンテナ　－放射特性のテープ幅依存性の検討－
岩木裕右也
○バイフォーカルレンズアンテナの設計に関する研究
小野寺拓也
○導波管ハイブリッド結合空洞共振器列スロットアレイ
倉島　大
○円－楕円型誘電体レンズアンテナの試作と測定
金野　涼
○アルキメデススパイラルアンテナの試作と測定
佐藤賢治

大寺 勲 研究室 OHTERA ISAO LAB.

○テーパ導波管漏れ波レンズの電磁界集束性に関する研究
曽根　猛・石井翔平
○テーパ導波管を用いた中央給電対称型漏れ波レンズに関する研究
武田智也・岡本匡平
○テーパ導波管を用いた平面構造漏れ波レンズに関する研究
切岸智紀・佐藤裕太・村山健二

○テーパスロットによる導波管漏れ波レンズの集束性改善に関する研究

阿部敬太・鈴木智也

○年数の経たアナログ測定データ修復に関する研究

沢田　亨

沢田浩和 研究室 SAWADA HIROKAZU LAB.

○60GHz帯ミリ波車内伝搬測定

戸松友英

○オフィス環境における60GHz帯伝搬測定

尾崎　元

○デスクトップ環境におけるミリ波伝搬測定

伊勢谷光

○デスクトップ環境におけるミリ波帯ダイバーシチ効果の検討

佐藤智美

○反射波を利用した60GHz帯無線通信の検討

三浦善幸

○広角指向性をもつ60GHz帯チョーク付きコニカルホーンアンテナ

柳沼　薫

○自動アンテナステアリングシステムの開発

山本貴之

○境界単線路の放射特性解析

武田和磨

○ボディエリアネットワーク伝搬測定（1）

工藤圭太

○ボディエリアネットワーク伝搬測定（2）

佐藤真人

瀬戸正弘 研究室 SETO MASAHIRO LAB.

○活断層近辺における全磁力による比抵抗測定

渡辺貞利

○VLF法による地下比抵抗構造について

高田　健

○放送波による地下比抵抗構造について

高橋啓太

○環境都市雑音電波の測定と解析

高橋和也

○送電線による環境磁界変動

村上雅人・高橋正斗

○地震発生に伴うELF帯磁界変動

中田健太

高野剛浩 研究室 TAKANO TAKEHIRO LAB.

○斜対称圧電セラミック振動子を用いた超音波モータの特性

鈴木康宏・今　憲幸

○振動モードの非対称性を利用した単相駆動超音波リニアモータ

野村和哉・渡谷拓也

○細棒への直交する屈曲振動の励振と超音波モータへの応用

佐藤大輔・北村雄治

○円板の屈曲振動による超音波浮揚を利用した超音波モータの試作

千葉奈々子・野口洋平

○圧電セラミックを用いたマイクロ発電機構の基礎的な検討

阿部　誠・濱田　弘

中川朋子 研究室 NAKAGAWA TOMOKO LAB.

○太陽風磁気ロープの可視化

鈴木雅之・後村明秀

○地球磁気圏尾部における磁気リコネクションの発生域

板垣翔平・草野　諒・須藤康次

○地球磁気圏近尾部における磁気リコネクションによるスローショック

咲山修一

○人工衛星「あけぼの」軌道上における電子を加速させる電場の発生位置

浅利善裕・齊藤貴寛・仙石文綱

○月齢と地磁気の関連

中山研仁

野口一博 研究室 NOGUCHI KAZUHIRO LAB.

○熱光学効果型光スイッチを用いた光信号レベル安定化回路の検討

石幡哲也・佐々木拓人

○ディジタル制御による熱光学効果型光スイッチの出力光レベル安定化

門馬真也・佐藤隆宣

○光フィルタを用いた波長多重光アドドロップ回路の検討

増村泰人・森　佳文

○ＯＴＤＲによる通常分散光ファイバの誘導ラマン散乱光発生状況の観測

石垣洋介・堺雄一郎

○誘導ラマン散乱光パルスを用いた波長分散測定

千葉雄一郎・田畑雄太

河野公一 研究室 KAWANO KOUICHI LAB.

○ノア画像を用いた森林火災煙の検出に関する研究

田畑久美子

○ノア衛星を用いたマルチパス画像合成処理に関する研究

髙橋　愛

○ノア衛星画像を用いた海氷と氷晶雲の分離に関する研究

梅村由佳

○ノア衛星画像からの汚染物質の検出に関する研究
小野年雄
○ノアデータを用いた画像検索システムの開発
佐藤　彰

木戸 博 研究室 KIDO HIROSHI LAB.

○低音品質を重視した小型スピーカーの設計
斎藤達郎
○マウスのみで操作可能な音声合成アプリケーションの構築
相原朗彦・武藏和彦
○実環境下におけるＳＳ法を用いた雑音除去の効果
佐藤　繁
○直達音声と電話音声の聴取印象の差異　－一対比較による導出－
安住　真・佐藤史彰
○聴取による足音判別の可能性について
加藤　猛
○信号検出理論を用いた記憶における時間変化の分析
永田雅喜
○CUIで処理できる音声分析プログラムの制作
奥山英明
○ピークピッキング法によるフォルマント抽出
佐々木伸幸
○自己相関法によるピッチ抽出
大内季宗

佐藤光男 研究室 SATOU MITSUO LAB.

○ニューラルネットワークを用いた起床検知システムに関する研究
小野　誠・熊木健将
○エキスパートシステムの医療分野への応用に関する研究
古城吉孝
○ファジィ理論の家電製品への応用に関する研究
小山将史
○ファジィ理論のエレベータ群管理システムへの応用に関する研究
遠藤弘志・大場政洋・片山満彦
○ファジィ理論を用いた都市ごみ焼却プラント燃焼制御システムに関する研究
浅野達也・伊東　圭・吉村一貴

鈴木健一 研究室 SUZUKI KEN-ICHI LAB.

○画像処理ハードウェアに関する研究
石垣貴博
○組み込み機器のウェブインタフェースに関する研究
大内克人
○FPGAによる組み込み機器の実装に関する研究
野村太一
○組み込み機器のGUIに関する研究
渡部雅大

角田 裕 研究室 TSUNODA HIROSHI LAB.

○パルス型DoS攻撃の影響と検知システムに関する検討
北川康彦・熊坂祥貴
○Syslog情報の高信頼な収集システムに関する研究　－TCPを用いた収集システムの構築と性能評価－
須藤俊吾・武田　功
○Syslog情報の高信頼な収集システムに関する研究　－収集経路可視化システムの試作－
高橋　啓・高橋沙矢佳

松田勝敬 研究室 MATSUDA MASAHIRO LAB.

○バスマップ情報のXMLによる記述に関する研究
田中　亮
○XMLデータベースを用いたWebによるバスマップシステムの開発
大類圭司
○RDBによるバスマップ情報閲覧システムの研究・開発
伊藤文佳
○トラフィック増大時における緊急地震速報通信のロバスト性の検討
三塚聖明
○L2通信によるネットワークセキュリティシステムの研究・開発
佐々木宏幸
○ネットワークマイコンボードによる遠隔モータ制御の研究・開発
作間俊哉
○無線LAN台車における動画通信の検討
斎藤和樹
○マイコンセキュリティ端末のセンサ情報処理の検討
工藤　睦
○ネットワークマイコンボードによる瞬間停電検知システムの開発
荘司泰宏

水野 尚 研究室 MIZUNO HISASHI LAB.

○ｎクイーンゲームの作成
柏木佳佑・鈴木慎吾
○積み上げ型四目並べゲームの作成
川口和也・門間広大
○立体四目並べゲームの作成
和賀　傑
○２進演算を実現するニューラルネットワークの構築と可視化
道川屋智行・渡邊俊介

○ニューラルネットワークによるファジィ推論の実現
柴久喜達哉
○人工蟻の行動シミュレーション
櫻井貴一・藤井博史

村岡一信 研究室 MURAOKA KAZUNOBU LAB.

○雲景観のCGシミュレーション
相澤優太
○オーロラのビジュアルシミュレーション
伊藤大輔
○冬季景観表現のための氷柱の自動生成法
高橋迪智
○しなりを考慮した竹の詳細CGモデル
濱田興宏
○砂塵を考慮した砂丘のCGシミュレーション
伊藤彰朗
○噴水のCGシミュレーションの改良
佐藤一真
○CGによる鳥の詳細表現法
佐藤　翔
○CGのための鳥のはばたき計算法に関する検討
伊藤　薫
○CGによるペーパープレーンの飛行シミュレーション
岩山慎吾
○二輪車のドライビングシミュレータ
高橋正博

小川淑人 研究室 OGAWA YOSHITO LAB.

○EclipseによるGasketの描画
加藤雄佑・中澤慧乗
○JAVA言語を用いた自己相似するフラクタル図形の描画及びその特徴の考察
菊池祐輔・小田嶋裕太

建 築 学 科 Department of Architecture

阿部良洋 研究室 ABE YOSHIHIRO LAB.

○地震観測記録の解析　－2005年８月の宮城県沖地震と2008年６月の岩手･宮城内陸地震の対比－
大泉秀彰・三浦　陸
○簡易振動計による住宅の常時微動測定　－木造住宅の迅速かつ容易な耐震性能測定に関する研究－
小川　綾・高山直大
○地盤の不同沈下により構造被害の生じた建物の振動調査
中島　健・稲葉吉彦
○本学５号館の常時微動測定から捉えた経年劣化に関する継続研究　－岩手・宮城内陸地震による影響－
葛巻賢憲・熊谷圭一朗
○本学３号館の耐震補強効果及び経年変化に関する研究
黒川和久・渡邉将人・佐藤　健
○仙台市役所本庁舎の耐震補強後における振動特性に関する研究
玉田紘士・三浦武

石井 敏 研究室 ISHI SATOSHI LAB.

○全国のユニット型高齢者施設における平面分析と考察
山内勝之・黒澤祐介・安部和也・眞坂琢也
○東北６県のユニット型高齢者施設の空間構成に関する考察
小野寺誠・宮澤貴保・横山雄磨・吉田梓紗
○独り暮らし高齢者の地域・在宅居住を支えるサポートシステムの実態　－仙台市Y地域における事例考察を通して－
宮古大輔・坂本由貴・菊地えりか

大沼正昭 研究室 OHNUMA MASAAKI LAB.

○RC建物の耐震補強に関する研究
佐藤義典・横山和毅
○木造軸組における接合部の履歴特性に関する研究
八戸美枝・由利真知子
○木造軸組のための制振ダンパーに関する研究
大柳　惇・菊田裕樹・北村卓也・我妻　薫
○木造軸組の耐震補強方法に関する研究
金森崇史・亀山恵理・木村文紀・武藤寛尚

小野英哲 研究室 ONO HIDENORI LAB.

○水廻り床の素足による歩行時・段差からの着地時のすべりの研究
太田憲作・後藤高仁・福留　武
○各種動作時における指先接触による動作支援及び姿勢保持の観点からみた建築部位・部材の評価方法に関する基礎的研究
左藤康太・天生目真吾・小山友輔

小野瀬順一 研究室 ONOSE JYUNICHI LAB.

○Root　－地域に根付く病院－
庄子寿弥

○戦前の地震被害についてのアーカイブ資料の作製
大内崇裕・増田晃大

○伝統的木造建築技法における規矩術の数理化と捧隅屋根の墨付け部材の研究
高橋里美・蟹江哲史

○新形式の木造架構の応力・変形に関する研究
菅野　茜・渡部祐太郎

○土蔵造りに関する研究
宮川翔太・芦野竜人

○不静定次数と剛性との関係に関する研究
工藤英樹・佐々木躍

○火の見櫓に関する研究
安藤祐貴・佐々木佑太

許 雷 研究室 XU LEI LAB.

○ダブルスキンを持つ建物における自然排煙に関する研究
－CFDによる予測－
高橋　光

○ダブルスキンを持つ建物における自然換気に関する研究
－模型実測とCFD予測の比較－
沼辺尚史

○ダブルスキンを持つ建物における自然換気に関する研究
－風力換気の模型実測－
丹野恭平

○ダブルスキンを持つ建物における自然換気に関する研究
－温度差換気の模型実測－
星　尚斗

○東北地方の商業施設におけるエネルギー消費の実態調査
－デパート・スーパー等を対象とする－
小形　亮

○東北地方の商業施設におけるエネルギー消費の実態調査
－年間比較－
木村秀人

○東北地方のコンビニにおけるエネルギー消費の実態調査
藤嶋孝輔

○瀋陽市における冷暖房負荷の計算
黒羽浩之

○国際規格IFCによる建築デジタル設計に関する研究　－自動積算ツールの開発－
高橋尚也

○国際規格IFCによる建築デジタル設計に関する研究　－空調負荷計算ツールの開発－
早坂拓之

最知正芳 研究室 SAICHI MASAYOSHI LAB.

○地震の被害予測におけるブロック塀数の推定式の検証
紺野一樹・齋藤　渉・伊丹沙織・村上由貴

○組積造塀の実態調査　－その１－栗原市の事例
今井光保・阿部俊也・熊谷史隆

○組積造塀の実態調査　－その２－岩手県九戸郡洋野町
菊池正章・小野大輔・菊池俊也

○組積造塀の亀裂の状況分析
森谷一樹・工藤則弘・千葉和俊

志田正男 研究室 SHIDA MASAO LAB.

○さんかくのしたで　－仙台東口の地域再生計画－
中村大樹

○Paprika
佐藤千明

○DOMINO APARTMENT
中津川綾

○Site cliff　－新しい展示空間の提案－
千葉めぐみ

○Slalom Bridge　－スラローム　ブリッジ－
小林知博

高橋恒夫 研究室 TAKAHASHI TSUNEO LAB.

○宮城県気仙沼市と岩手県陸前高田市の明治期以降の民家
矢口瑞穂・鈴木明子・中牧友美
鈴木俊彦・今野沙紀・稲荷場将司

○青森県黒石市の前町と中町における修景の試み
岸本拓洋・佐藤瑛美・高橋　亮
土井聡子・千葉純也・平間佑貴・渡邉貴文

田中礼治 研究室 TANAKA REIJI LAB.

○中国の地震に関するアンケート調査
城戸拓輝

○仙台市の耐震診断及び耐震改修の促進に関する研究
室井良太

○岩手県内における地域防災の世代継続を考えた耐震診断の促進に関する研究
荒井智彦

○津波に強い住宅の開発に関する研究
松本瑛裕・佐藤祐貴

槻橋 修 研究室 TSUKIHASHI OSAMU LAB.

○OREMAGARU TOMARIBA
菅原和浩

○RING－GARDEN
佐藤　剛

○都市　×　スタジアム
八代裕太郎
○空間領域、解放　_Vague recognition
田島智之
○ソトデゴハン
大高　幸
○アーケードの新しい形
高橋慶行
○primitive city wall　－都市的な居場所の原風景－
石澤拓也
○マチノカタチ　－福島が示す方向性－
石原数馬
○オンガクノマチ
武田勇輔
○voice　－ヒカリノワタシ・カゲノワタシ－
中野和敬
○都市という地形
工藤聡志
○GIRL'S CITY　－あたしたちだけの場所－
藤田佳那
○Environmental Architecture.. Office
横塚賢一

沼野夏生 研究室 NUMANO NATSUO LAB.

○地域の活性源となる統合校
飯澤　勝
○Join　～繋～　高萩駅前の活性化計画
篠原光毅
○『現実・妄想・アイダ』　*scene*
高橋拓也
○THE HOME OF ALL　－みんなの家－
田中喜基
○過疎地域における路線バスの廃止に伴う高齢者の外出行動と今後の対策の研究
高梨　航
○地方圏におけるNPO団体の活動実態と連携関係に関する研究　－地域活動にみる圏域性と連携によるネットワーク形成について－
小野寺雄太・高野義大
○地方小都市の商店街における空き店舗発生のメカニズムについて　－宮城県登米市を事例として－
丹野　光
○地下鉄終点駅周辺の地域構造の変化に関する研究　－仙台市地下鉄南北線を事例として－
足立佑登
○豪雪地帯における雪対策の動向と地域特性について
奈良浩一・古内　翔

船木尚己 研究室 FUNAKI NAOKI LAB.

○転動柱を用いた基礎免震システムの振動応答解析
倉片瑛律子・佐藤春奈
○開発途上国における組積造住居の耐震化に関する調査研究
今野　信・小関靖之・鈴木良太
○ロッキング構法を適用した制振壁の抵抗力特性
高橋健太・中野和也・宮淵雅也
○ロッキング構法を適用した制振壁を有する縮小３層フレームの振動台加振実験
及川　翔・鹿野裕人・山口　真・板垣健士
○制振壁を有する骨組の時刻歴応答解析
伊東　強・佐藤優輔

谷津憲司 研究室 YATSU KENJI LAB.

○閉鎖していた生活が崩れ、鮮やかさを取り戻し光を灯す
阿部恵子
○ハコブネ
佐藤直之
○スカスカhouse　－領域住宅－
江戸崇祐
○Sendai Green Life Project
遠藤健司
○Branch × Branch
高橋かな代
○木漏れ日の落ちる場所　－福島駅改修計画－
大波武寛
○さいせいはうず　－自然と生きる場所－
戸坂小百合
○演劇住居
菅野郁子
○ANOTHER WORLD　－子どもと親との２つの世界観－
三上寛哲
○Tensegrity Stadium
高竹恭弘
○カタチのないうりもの
山寺理恵
○ＬＩＮＫ　－つながる人と街－
石田慶太
○Aquarium + Community　－石巻中心市街地活性化計画における中州「中瀬地区」の在り方－
畠山健太郎

渡邉浩文 研究室 WATANABE HIRONORI LAB.

○リモートセンシングによる富山県の都市の経年変化　－富山市のクリマアトラスに関する研究　その１－
小室智教

○都市計画のための気候情報解析　－富山市のクリマアトラスに関する研究　その２－

中谷将徳

○仙台市における夏の陸風発生状況と気温に与えられる影響に関する研究

蝦名　翔

○仙台市中心部の細街路空間における温熱環境実測②　－猛暑日と夏日の比較－

鎌田達也・熊谷　淳

○建築環境性能評価への地域気候特性適用の可能性に関する研究

阿部功太

○通風を利用した夏季住宅室内の温熱環境の改善に関する研究
－仙台都市域各地点の気候特性の違いに基づく数値解析－

影山伸太郎

○東北地方の教育施設におけるエネルギー消費の実態調査
－小学校・中学校・高等学校を対象として－

岩井裕太

○東北地方の教育施設におけるエネルギー消費の実態調査
－幼稚園・大学を対象として－

佐藤友人

○東北地方の文化施設におけるエネルギー消費の実態調査
－劇場・図書館・展示施設を対象として－

島津将太

○大規模震災を想定した高齢者施設における設備機能維持に関する調査研究

大場史敏

○大規模地震時の上水道被害が及ぼす災害拠点施設への影響に関する研究

橘内美穂子

○ＧＩＳを用いた仙台市の人口推移とインフラ整備の変遷に関する統計解析

佐藤祐維

建設システム工学科 Department of Civil Engineering

青木俊明 研究室 AOKI TOSHIAKI LAB.

○デンジャーゾーン舗装の効果

柴田洋佑・菅原涼平

○中心市街地における非日常性の規定因

矢口裕一・泉谷雄大

○中心市街地活性化と市民の主観的幸福感

佐川雅紀・鈴木圭太

○タクシー規制緩和による社会的厚生の変化

平方太郎

秋田 宏 研究室 AKITA HIROSHI LAB.

○コンクリートの直接引張試験で現れる２次曲げの性質

松本泰士

○コンクリートの直接引張試験における２次曲げ自動消去の効果

森　　渉・熊谷宏太

○コンクリートの引張軟化曲線を推定するデータベース

小林昂樹・佐竹勇治

○直接引張試験におけるコンクリートの寸法効果

小熊浩次・熊谷正輝

○試験法の違いによるコンクリートの諸強度、弾性係数などの関係

大場陽介・庄子悠太

新井信一 研究室 ARAI SHINICHI LAB.

○SIMPLE法による噴流特性に関する研究

伊藤麻衣子

○波浪中没水物体に働く波力に関する研究

八重樫絵理

○台風時港内避泊船舶の風荷重に関する研究　－開水路粗度床による風場－

阿部尚弘

○台風時港内避泊船舶の風荷重に関する研究　－建屋が風場に与える影響－

石澤修平

○台風時港内避泊船舶の風荷重に関する研究　－風荷重に与える建屋の影響－

田口佑太

○津波漂流物の衝突力に関する研究　－孤立波の造波－

澁谷直輝

○津波漂流物の衝突力に関する研究　－衝突力の計測－

小野寺拓也

○津波漂流物の衝突力に関する研究　－流体付加質量－

工藤真太郎

伊藤孝男 研究室 ITO TAKAO LAB.

○樹脂系有害物封鎖固化剤を用いた表層改良土の諸性状について
小川達大・中川翔太
○樹脂系有害物封鎖固化剤を用いた柱状改良体の諸性状について　－物理・力学特性－
鈴木雄太・高橋宏征
○樹脂系有害物封鎖固化剤を用いた柱状改良体の諸性状について　－溶出抑制・構成元素－
笠原達也・加藤　誠
○樹脂系有害物封鎖固化剤で固化した焼却灰系骨材の性状について　－Ｓタイプ凝固剤－
浅野将文・古川真也
○樹脂系有害物封鎖固化剤で固化した焼却灰系骨材の性状について　－Ｐタイプ凝固剤－
千葉慎太朗・山田周平

小出英夫 研究室 KOIDE HIDEO LAB.

○再生骨材製造時に発生する微粒分を用いたコンクリートに関する研究
郷内拓朗・我妻純平
○コンクリート構造物群に関するアセットマネジメントの可能性
八島昌樹
○非乾燥状態の再生骨材を全量利用したポリマーコンクリートの耐凍結融解性能
安達範男・鈴木成人

今野 弘 研究室 KONNO HIROSHI LAB.

○七北田ダム湖水の性状と残留アルミニウムの関係
佐々木広大
○宮床ダム湖水の性状と残留アルミニウムの関係
千葉政弥
○バッフルプレート設置による凝集沈澱およびろ過性の向上
田中昭宏
○酒石酸による凝集阻害度に関する実験的検討
石川達也
○クエン酸による凝集阻害度に関する実験的検討
佐藤嘉晃
○培地残渣中の有機物が凝集に与える影響
木村祐介
○有機物と反応したアルミニウムの不溶性成分生成反応
細谷信吾
○有機物と反応したアルミニウムのろ過砂への吸着性
佐々木徹治
○有機物と反応したアルミニウムの荷電中和能力
伊藤勇介

高橋敏彦 研究室 TAKAHASHI TOSHIHIKO LAB.

○急傾斜護岸の越波防止に関する規則波実験
西村祐弥・足立　翔
○急傾斜護岸の越波防止に関する不規則波実験
渡邊俊宏・内野澤翔
○ＣＡＤＭＡＳ－ＳＵＲＦによる傾斜護岸への波の遡上計算に関する検討
渡邊雄二
○ＣＡＤＭＡＳ－ＳＵＲＦによる傾斜護岸への越波計算に関する検討
菊地　亨
○相対水深を考慮した改良仮想勾配法による波の打ち上げ高さに関する一検討
鈴木文也
○仙台新港のサーフスポットにおける海岸利用の現地調査
伊丹栄樹
○仙台新港のサーファーの海岸利用動向に関する経年変化
葛西清隆

千葉則行 研究室 CHIBA NORIYUKI LAB.

○平成20年岩手・宮城内陸地震で発生した斜面変動の分布
北山誠也・石川北斗
○平成20年岩手・宮城内陸地震による河道閉塞箇所の斜面変動の特徴
佐々木啓太・井上一樹
○平成20年岩手・宮城内陸地震で発生した崩壊土塊の流動現象
芦生雅人・瀬谷真輝
○平成20年岩手・宮城内陸地震で発生した荒砥沢地すべりの地質的背景
三浦勇希

外門正直 研究室 TOMON MASANAO LAB.

○愛島大橋ジオラマ製作
後藤一法・渋谷大祐
○広瀬橋ジオラマ製作
高橋和彦・中村識士
○東北工大八木山キャンパスのジオラマ作成とアンケート調査
佐藤健太・武田優貴
○大倉ダムジオラマ製作
藤井　学・佐藤隼人

中山正与 研究室 NAKAYAMA MASATOMO LAB.

○東北工業大学八木山キャンパスにおける降水量と雨水の水質に関する調査
熊谷秀樹・平尾剛志
○東北大学植物園内小河川における晴天時の水質変化について
仲村　勇・岸　卓麻

○一般廃棄物最終処分場における浸出水の流出量に関する調査
阿部裕輔・相澤和人
○カラム実験による土壌に浸透した浸出水の挙動に関する研究
羽田大士・高宮和剛
○七北田川における水質の経年変化の調査
似鳥優介

松山正將 研究室 MATSUYAMA TADAMASA LAB.

○仙台都市図【1958（昭和33）年】のデジタルマッピング化について
押切祐輔
○国史跡「仙台城跡」調査資料に基づく情報づくり
松本拓也
○長町キャンパス内「二ツ沢保存緑地」の維持管理用通路づくり
齋藤洋輔
○長町キャンパス内保存緑地の情報づくり
阿部雅一
○保存緑地内の地形と樹木の細部調査について　－事例１：電子平板（Model－SR）－
太田好光
○保存緑地内の地形と樹木の細部調査について　－事例２：電子平板（Model－T）－
中村　実
○本学キャンパス内へのＧＰＳ固定点設置に向けて
渡邊辰徳

村井貞則 研究室 MURAI SADANORI LAB.

○能登半島地震が道路ネットワークに及ぼした影響の評価
星　誠人・木村大輝
○新潟県中越沖地震が道路ネットワークに及ぼした影響
勝野　聡・三浦茂樹
○自然曝露によるアスファルト混合物の性状変化
原田翼考・阿部芳徳
○温暖化対策再生加熱アスファルト混合物の研究
樋口弘晃・相澤昌範

デザイン工学科 Department of Industrial Design

荒井俊也 研究室 ARAI TOSHIYA LAB.

○レタリング技法を用いたグラフィック作品の制作
阿部寛史
○ゼラチンシルバープリントによる写真制作
鈴木宇宙
○木版画によるグラフィック作品の制作
服部弘司
○皮革を用いた鞄のデザインと制作
平間博之
○オリジナルストーリーと手描きのイラストレーションによる絵本の制作
高橋真菜美
○色鉛筆を用いたイラストレーションの制作
宮澤有美
○甕の制作
山家浩司

石川善美 研究室 ISIKAWA YOSIMI LAB.

○パッシブクーリングデザインの実際とその効果について
阿邊　悟
○住宅における室内熱環境とエネルギー消費に関する調査研究
木内隆生
○実際の住宅を用いた地中熱利用ヒートポンプの性能評価に関する研究
佐藤貴紀・寺澤　諭
○結露発生の要因とその防止について
金津　真也
○CASBEEを適用した住宅の環境性能評価に関する研究
菅原　了・渡邉建都
○室内における空気汚染の防除に関する研究
千田　俊

梅田弘樹 研究室 UMEDA HIROKI LAB.

○座れるバッグの提案
伊藤茉利
○クッションが収納できるテーブルの提案
大泉　健
○壁に立て掛ける収納家具の提案
菅野友佳子
○洋服掛けの提案
庄司智仁
○花器の提案
益子正人
○イスの生活・床の生活を両立させる家具の提案
浅野健太

○良い食生活のための食器の提案
加藤聡子
○自動車のクレイモデル制作
熊谷翔大
○ 屋外でも室内でも使える家具の提案
松田法丈

菊地良覺 研究室 KIKUCHI RYOUGAKU LAB.

○食卓から持続可能社会を築く －ロハスをもとにした宮城の地場産品を使ったテーブルウェアの提案－
相馬由佳・加藤由季
○障害者自立支援施設のリニューアル計画 －萩の郷福祉工場を事例として－
川村 大・今 孝夫・森 慎吾
○LOHASで地域を元気にするデザイン提案 －宮城（石巻）の海の暮らしと生産を高める－
齋藤武史
○ロ・ハウス住宅のデザイン －自然を活かした住まいの提案－
新田和広

小山祐司 研究室 KOYAMA YUUJI LAB.

○禅宗寺院庭園の空間構成について －方丈の枯山水庭園を中心として－
村上 翔

篠原良太 研究室 SHINOHARA RYOUTA LAB.

○江戸時代の循環システムを紹介するWebサイトの制作 －江戸エコすたいる－
金子真弓
○四季とキャラクターを題材としたカレンダーの制作 －Four Season Girls－
宮崎ちさと
○アクリルガッシュを使ったイラストレーション表現の研究と制作
安部まりえ
○３DCGによるイラストレーション表現
小野龍平
○３DCGを用いたイラストレーションの制作
島田幸平
○３DCGによる飛び出す絵本の制作
萩川由貴
○東北工業大学弓道部Webサイトの制作
水野優子

庄子晃子 研究室 SHOJI AKIKO LAB.

○切り絵を使った絵本の制作
熊谷陵司
○着物のリサイクルによる制作 －伝統を受け継ぐ－
中野佳織
○プリザーブドフラワーによるポストカードの制作
及川未里
○こけし工人の手 －写真集の編集デザイン－
小西 光・佐藤翔吾
○女子学生のためのエコバックの制作
齋藤英美
○装丁の表現についての研究 －宮沢賢治「注文の多い料理店」を題材にして－
佐々木ゆり恵

中居尚彦 研究室 NAKAI NAOHIKO LAB.

○音楽素材を使ったインタラクションアニメーションの制作
中新井悠次
○Flashによるインタラクションの研究
阿部 淳
○アニメーションの制作 －手描きによるアニメ表現－
伊藤俊平
○ActionScriptを使用した誘導ゲームの制作
小濱奈那子
○ドラムの音源によるリズムエディタの制作 －RHYTHM MACHINE－
田代 章
○ActionScriptを使用したWeb SITEの制作 －Eco SITE－
寺嶋恵司
○Webプログラミングの研究 －Webによる履修登録手法－
中村美文
○フラッシュによるアクティブストーリーの制作
遠藤千明
○インタラクティブFlash webサイトの制作
桜井雄太

梨原 宏 研究室 NASHIHARA HIROSHI LAB.

○遊べるラグマット －毛並みでつくる自由な世界－
内海りか
○自由曲げ変形フレームと照明デザイン
遠藤 諒
○エコデザインによるドミノの提案 －建築廃材を利用した教育玩具－
田村 隆
○砂と遊具
坂本和基
○空間の活用を学ぶ知育玩具の提案 －「広げる」「遊ぶ」「しまう」のサイクルを活かす－
佐藤祐輝
○日本立体地図パズルの提案 －社会科と美術教育の統合－
鈴木大輔

○左右共用のデザイン　－利き腕を選ばないデザイン－
長久保泰章
○子どものための仕掛け絵本　－心とカタチを見る目を育てる－
早坂美穂

西野敏信 研究室 NISHINO TOSHINOBU LAB.

○カンナの道　－手描きによるアニメーションの制作－
小友太一
○３DCGと実写映像を合成したアニメーション表現
宍戸拓也
○子供向けアニメーションの制作
鈴木未希
○ After Effectsの特殊効果を用いたアニメーションの制作
渡邊結芽

二瓶博厚 研究室 NIHEI HIROATSU LAB.

○ピクチャーウィンドウの手法で創るセカンドハウス
赤井　維人
○アグロフォレストリーの精神を活かしたツリーハウスロッジのデザイン
飯田真広
○学生生活を豊かにするキャンパス空間のデザイン　－八木山キャンパスLibrary-Diningの提案－
小林勇太
○s.s Boxのデザイン　－小さな町の健康に重点をおいた交流空間の提案－
斎藤宏一・佐々木唯人
○通りを考える　－あすと長町〈にぎわい軸〉床のデザイン－
加藤　萌
○The NeuroNest（Neuron＋Nest）　－風土と共に生きていく住処の提案－
菅野禎人
○セカンドライフのためのハウジング計画
小谷尚志
○地域と繋がる小学校
－市街地におけるモデル小学校の提案－
八鍬有子

原田 一 研究室 HARADA HAJIME LAB.

○安全な３人乗り自転車の提案
岩井太樹・菅野佑一・千葉　竜

舛岡和夫 研究室 MASUOKA KAZUO LAB.

○団塊世代のための集合住宅計画　－活気ある中心市街地への回帰として－
伊藤敦史
○都市と農村の暮らしをつなぐ施設計画　－村田町小泉地区を対象として－
本間由未
○八木山の道をWalking Trail（散歩道）に　－地下鉄東西線計画に併せて－
丸山明代
○団地に生産を取り入れる　－幸町団地を事例として－
山下雄大
○廃校の再活用　－生産と住民のための施設計画－
宇野直浩
○農山漁村地域の復興計画　－水辺を楽しむ町並みの提案－
木皿康之
○歴史的背景を持つ角田市の街並みの風景を整えるデザイン提案
相原洋之

両角清隆 研究室 MOROZUMI KIYOTAKA LAB.

○一般的なレベルのユーザーにも使いやすいウェブサイトの管理システムの開発　－デザイン工学科作品データベースを対象として－
川崎　浩
○ウェブサイトにおけるユーザビリティの向上　－たきみち生き活き広場を対象として－
諏訪悠紀

環境情報工学科 Department of Environmental Information Engineering

浅井和弘 研究室 ASAI KAZUHIRO LAB.

○NOAA/CDC データと国内地上気象データとの比較検討
佐藤昌樹
○1.5μm レーザー長光路吸収法による CO_2 濃度の観測結果
上野　恵
○植生リモートセンシングに対するクロロフィルの透過・吸収特性の実験的検討
佐藤孝祐
○ネズミモチ、アズマネザサ、イタチハギの葉っぱの光反射スペクトル特性
森　大樹
○JAVA 言語による光スペクトル・データの解析用ソフトウェアの試作
米内山聖史
○照射光強度/照射光角度の変化に伴うソーラーパネル発電電圧特性
吉田　明
○太陽光発電パネル表面温度と発電電圧特性
齋藤　剛
○ソーラーパネル発電の入射光波長依存性について
只見浩太郎

穴澤正宏 研究室 ANAZAWA MASAHIRO LAB.

○インフルエンザの伝染シミュレーション
地紙謙太
○個体ベースモデルによる海洋食物網の安定性の評価
柳澤和幸
○温暖化による北極熊の生息地減少の影響　－個体ベースモデルによる考察－
山川健一
○海洋の生物ポンプによる二酸化炭素固定における鉄の効果
伊藤祐太・太田　翔

飯沼恒一 研究室 IINUMA KOICHI LAB.

○大域的気候変動とヤマセ・冷夏発生の因果関係に関する研究
橋本雄心
○水蒸気及び雲のフィードバック効果と温暖化の相関に関する研究
三浦愛弓
○二宮尊徳の報徳仕法にみる自然観に関する研究
伊藤　誠
○宮城県の野生動物による被害と里山荒廃の因果関係に関する研究
佐々木達也
○副都心「あすと長町」の大気汚染測定に関する研究
遠藤　優
○炭化法による廃棄物の有効利用に関する研究
二階堂雄士
○薬物を利用した鳥獣類と人間の共生環境構築に関する研究
草野音水

内田美穂 研究室 UCHIDA MIHO LAB.

○燃焼炎吹きつけ法による水溶液中のキレート剤の分解
赤間健太・阿部裕嗣
○陸水中の無機イオンバランスのキーダイアグラムによる考察
岩渕　悟
○PRTR 開示情報の活用法の提示　－宮城県の大気排出上位５物質に着目した現状の調査－
菊地一久
○処分場浸出水の炭素収支と無機塩類の影響
川井裕之
○植生浄化による浸出水中の溶存有機化合物種に及ぼす諸条件の影響
佐藤巧弥
○植生浄化による浸出水中の溶存有機化合物の形態変化
佐々木栄輝

江成敬次郎・小濱暁子 研究室 ENARI KEIJIRO & KOHAMA AKIKO LAB.

○伊豆沼における人工産卵床を利用したオオクチバス駆除効果の検証　－2008年の産卵傾向－
引地裕司
○伊豆沼における人工産卵床を利用したオオクチバス駆除効果の検証　－人工産卵床における産卵生態－
菅野弘亮
○伊豆沼における人工産卵床を利用したオオクチバス駆除効果の検証　－二段式人工産卵床の駆除効果－
鈴木拓也
○水鳥が飛来する伊豆沼給餌池における水質の時季的変動に関する研究　－懸濁態物質に関する考察－
菊地孝志
○水鳥が飛来する伊豆沼給餌池における水質の時季的変動に関する研究　－COD に関する考察－
千葉幸徳
○水鳥が飛来する伊豆沼給餌池における水質の時季的変動に関する研究　－大腸菌群数に関する考察－
河合　勉
○水鳥が飛来する伊豆沼給餌池における水質の時季的変動に関する研究　－窒素、リンに関する考察－
菊池友文
○水鳥が飛来する伊豆沼給餌池における水質の時季的変動に関する研究　－クロロフィルa に関する考察－
畑井　崇

○水鳥が飛来する伊豆沼給餌池における水質の時季的変動に関する研究　－植物プランクトン相に関する考察－

佐藤　歩

○伊豆沼給餌池における植生浄化実験装置の作製

佐伯勇志

○植生浄化法による廃棄物処分場浸出水浄化

本城悠矢

○廃棄物埋立処分場の浸出水処理機能と環境への影響調査
－Ⅰ処分場について－

関根真也

○廃棄物埋立処分場の浸出水処理機能と環境への影響調査
－M 処分場について－

青木　隼

加藤善大 研究室　KATO ZENTA LAB.

○Mn-Mo-Sn 複酸化物を電極活物質とする海水電解用陽極における Ti-Ir および Ti-Ir-Sb 複酸化物中間層の創製

星　拓磨

○$Mn_{1-x'-y}Mo_{x'}W_yO_{2+x'+y}$ 複酸化物を電極活物質とし $Sn_{1-x}Ir_xO_2$ 複酸化を中間層とする海水電解用酸素発生極の創製

鈴木省登

○$Sn_{1-x}Ir_xO_2$ 複酸化物を中間層とした海水電解用陽極の創製

佐藤達也

○Ti-Mn-Mo-Ni 合金を用いた新規の酸素発生陽極の創製の試み

齋藤　俊

○下地基板に炭素を用いた海水電解用酸素発生陽極の創製の試み

柴田孝司

神山 眞 研究室　KAMIYAMA MAKOTO LAB.

○近年の内陸被害地震における地震動の空間分布と距離減衰特性

工藤正幸・東海林郁未

○内陸被害地震における関連地震および本震，余震の空間・時間分布特性　－2004年新潟県中越地震と2008年岩手・宮城内陸地震の発生をめぐって－

鈴木貴雅・福島成治

○東京電力柏崎刈羽原子力発電所サイト内で記録された強震動記録に関する考察　－2007年新潟県中越沖地震における被害と地震動特性の関係－

小野洋侑・菅野陽太朗

○アレー強震観測システム K-NET および KiK-net を利用した地震動のサイト増幅スペクトルにおける特性変化

及川　聡・佐藤圭介

古賀秀昭 研究室　KOGA HIDEAKI LAB.

○ANC の基礎的実験

井上純平・皆川健輔

○julius を用いた音声認識のための音響モデルの作成

東海林右恭・渡邊友寛

○ローカルピークの振幅を用いた音声認識（時間窓の影響）

小林兼人・坂本健太

○ローカルピークの振幅を用いた話者認識（時間窓の影響）

山内健太郎・吉田俊哉

近藤祐一郎 研究室　KONDO YUICHIRO LAB.

○学科ホームページのリニューアル　－デザインの改善と内容の充実化－

伊藤達志・佐々木宏和

○学科マーク「エコカルゴ」のデジタル素材化

千葉奈南子・渡邊博一

○学内の喫煙マナー向上に向けたアンケート調査　－喫煙者・非喫煙者による意識の違い－

荘司つばさ

○学内の喫煙マナー向上に向けたアンケート調査　－学年による意識の違い－

遠藤慎也

○牛乳パックをリユースしたエコバッグの改善と活用方法
－宮町商店街でのレジ袋削減に向けた環境教育(2)－

高野美早紀・菊池雅俊

佐賀武司 研究室　SAGA TAKESHI LAB.

○仙台市中心部の小公園における環境調査と整備計画に関する考察

荒井千裕

○街路空間の環境・景観計画の視点からみた公開空地に関する考察

木村美奈子

○仙台市近郊の温泉観光宿泊施設における防災調査

松井晋平・小笠原高寿

○中庭空間の周辺気流に関する基礎的調査

門田瑛良・布田誠也

○屋外・半屋外空間の温熱環境に関する基礎的調査

庄子雅哉・山本　惇

佐藤 篤 研究室　SATO ATSUSHI LAB.

○励起光学系の簡略化による波長２μm 固体レーザーの小型化

菰田　裕・生出　悟

○波長0.9μm高出力光パルスの最適発生法の検討

小野寺孝太・細川貞行・河田　悠

○波長0.9μm帯伝導冷却型固体レーザーの設計及び試作

佐藤　廉・清水響平

新関良夫・葛西重信 研究室

NIIZEKI YOSHIO & KASAI SHIGENOBU LAB.

○デュアルディスク電極及びウルトラマイクロ電極の作製方法とその基本特性

児玉隼人

○マイクロ電極を用いたクロレラの明反応評価

大山美紗季

○マイクロ電極を用いたTHP-1の分化過程における呼吸バースト評価の検討

阿部慎也

○ルミノール化学発光法を用いたTHP-1の分化過程における殺菌能評価

加藤公子

大学院 博士（前期）課程

修 士 論 文・作 品 題 目

（修士設計・修士制作）

電子工学専攻 Division of Electronics

電子物理工学部門
Electronic Physics

佐藤侑介　指導教員：織原彦之丞教授

修士論文

「クリアランスレベル検認のための 151,153Eu（n, γ）熱中性子吸収断面積の研究」

電子計測・制御工学部門
Electronic Measurements and Controls

葛岡　誠　指導教員：樋口龍雄教授

修士論文

「VHDL による DSP 用算術演算モジュールの設計と FPGA 実装」

電子・光子応用工学部門
Electronic and Photonic Applications

南部雄也　指導教員：小林正樹教授

修士論文

「生体蛍光断層イメージングのための、アレイ型超音波トランスデューサによる光変調法の研究」

通信工学専攻 Division of Communications Engineering

光通信工学部門
Optical Communication

千葉晃一　指導教員：上杉　直教授

修士論文

「周期分極反転 $LiNbO_3$ における高効率波長変換に関する研究」

芳賀　巧　指導教員：上杉　直教授

修士論文

「モード同期 $Ti:Al_2O_3$ レーザからの超短光パルス発生・評価とその信号処理への応用」

眞坂和志　指導教員：上杉　直教授

修士論文

「単一モード光ファイバによる超広帯域連続スペクトル光源の研究」

環境通信工学部門
Communication in Electromagnetic Environment

楢葉雄也　指導教員：氏家　宏教授

修士論文

「空洞共振器列励振スロットアレイアンテナに関する研究」

情報基礎工学部門
Information Engineering Science

髙梨　学　指導教員：佐藤光男教授

修士論文

「聴取印象における音声の個人性の記憶－記憶に影響を及ぼす声質－」

建 築 学 専 攻 Division of Architecture

建築史･意匠部門
Architectural History and Design

小檜山竜馬　指導教員：高橋恒夫教授

修士設計

「折り畳み可能な立方体構造の研究と開発」

佐藤太一　指導教員：高橋恒夫教授

修士設計

「建築空間の多層的居住性に関する研究－体験される環境としてのマッス / ヴォイド空間の提案－」

横山拓矢　指導教員：高橋恒夫教授

修士設計

「建築の内部性に関する研究」

環境計画部門
Environmental Planning

佐々木得壮　指導教員：石井 敏 准教授

修士論文

「高齢者の地域居住を支える小規模多機能サービス拠点の建築計画に関する研究～拠点の面的整備が進む地域を対象とした利用実態の分析から～」

建築生産工学部門
Building Production

渋谷　陽　指導教員：田中礼治教授

修士論文

「津波に強い住宅の開発に関する研究」

構造災害制御工学部門
Disaster Prevention and Control

金澤信之　指導教員：小野瀬順一教授

修士論文

「鉄骨造体育館におけるブレース配置と地震応答性状の関係についての研究」

制振構造学部門
Structural Vibration Control

木村将大　指導教員：阿部良洋教授

修士論文

「ロッキング構法を適用した制振壁を有する骨組の振動応答特性」

土木工学専攻 Division of Civil Engineering

土木材料構造工学部門
Division of Construction Materials and Structural Engineering

及川幸志　指導教員：外門正直教授

修士論文

「コンクリートの引張軟化曲線を推定するためのデータベースに関する研究」

髙橋敏幸　指導教員：小出英夫 教授

修士論文

「再生骨材製造時に発生する微粒分等の有効利用に関する基礎的研究」

デザイン工学専攻 Division of Industrial Design

産業デザイン計画部門
Industrial Design

足立邦登　指導教員：両角清隆教授

修士論文

「活動のパターンをデザイン開発に活かす方法－コミュニティの情報共有活動を対象として－」

環境情報工学専攻 Division of Environmental Information Engineering

環境情報計測工学部門
Environmental Information Measurement Engineering

阿部純也　指導教員：浅井和弘教授

修士論文

「光学設計 CAD を用いた環境計測用小型・高分解能分光器の設計法について」

伊藤雄也　指導教員：浅井和弘教授

修士論文

「植生リモートセンシングにおける植物の基礎スペクトル特性に関する研究」

新妻洋平　指導教員：浅井和弘教授

修士論文

「波長 0.9 μm 帯準 3 準位 Nd ドープ固体レーザの最適設計法に関する研究」

升澤浩之　指導教員：浅井和弘教授

修士論文

「1.5 μm・レーザ差分吸収センシング法を用いた大気中 CO_2 濃度測定」

大学院 博士（後期）課程

博 士 論 文 題 目

建 築 学 専 攻 Division of Architecture

環境計画部門
Environmental Planning

ペニャ パベル　指導教員：石井　敏准教授

博士論文

「THE EXPERIENCE OF HOME FROM THE PERSPECTIVES OF PERUVIAN IMMIGRANTS LIVING IN JAPAN」
（自己と環境との相対的関係にみる「住まい」の意味：在日日系ペルー移民における事例的研究）

菊池義浩　指導教員：沼野夏生教授

博士論文

「疎住地における生活圏の実態と変遷に関する研究
－外的規制および内的構造・発展による圏域構成－」

建築構造学部門
Architectural Structure

工藤瑠美　指導教員：小野英哲教授

博士論文

「摩耗による床のすべり抵抗の変化の即時推定方法に関する研究」

長町キャンパス

八木山キャンパス１号館「平成19年照明優秀技術賞」受賞

卒業記念特集号　　東北工業大学広報委員会

平成21年(2009年)3月19日(木)　〒982-8577 宮城県仙台市太白区八木山香澄町35番1号　電話022(305)3145

ホームページアドレス　http://www.tohtech.ac.jp/